

**TORO®****アダプタキット**

2013年度以降に製造された100" 後方排出デッキGroundsmaster®  
7210 シリーズトラクションユニット用  
モデル番号31104

**取り付け要領**

**注** このアダプタキットは、Groundsmaster® 7210 シリーズのトラクションユニットシリアル番号 313000001 以上に  
100" 後方排出デッキを取り付けるためのものです。

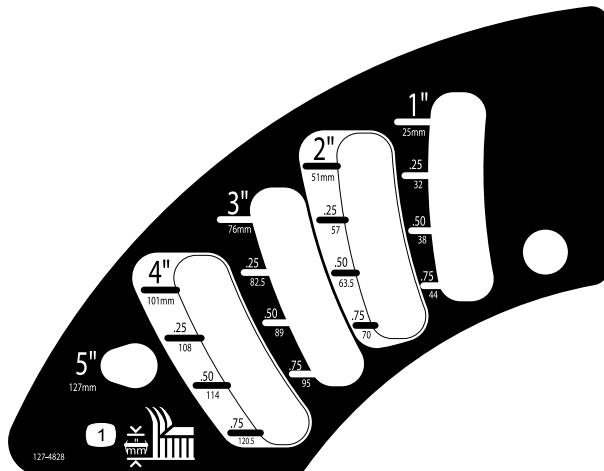


# 安全について

## 安全ラベルと指示ラベル



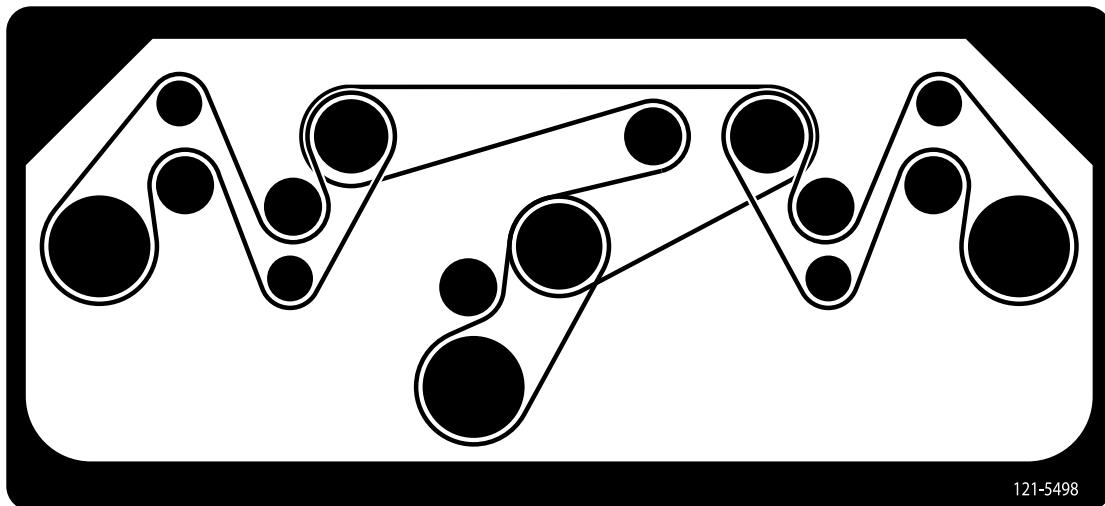
危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



**127-4828**

decal127-4828

1. 戻高



121-5498

decal121-5498

**121-5498**

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
<b>1</b>	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
<b>2</b>	必要なパーツはありません。	–	既存のデッキを取り外します。
<b>3</b>	長いプレート 小さいプレート	1 1	プレートをフレームに溶接します。(2013年と2014年モデル、および2015年モデルの一部のみ)
<b>4</b>	刈高ステッカー ボルト ワッシャ ロックナット ベルト配置ステッカー オリフィスディスク 字フィッティング 油圧ホース53 cm 油圧ホース43 cm デッキのワイヤハーネス ヒューズブロックとヒューズ アース端子ブロック ねじ ナット ジャンパストリップ シャントのワイヤハーネス	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1	アダプタキットを取り付けます。
<b>5</b>	リレーブラケットタイマー取り付け済み リレー ボルト10-24 x 0.56" ロックナット 昇降遅延ワイヤハーネス	1 5 2 2 1	タイマーを取り付けます。
<b>6</b>	フェンダのマウント 右フェンダ タップねじ5/16 x 5/8" ボルト1/4" x 5/8" ナット1/4"	1 1 2 2 2	右側フェンダを取り付けます。
<b>7</b>	左フェンダ ナット3/8" ボルト3/8 x 3/4"	1 2 2	左側フェンダを取り付けます。
<b>8</b>	必要なパーツはありません。	–	組み立てを完了します。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所で、刈り込みデッキを完全に上昇させた状態で駐車する。
2. エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、イグニッションスイッチからキーを抜き取る。

# 2

## 既存のデッキを取り外す

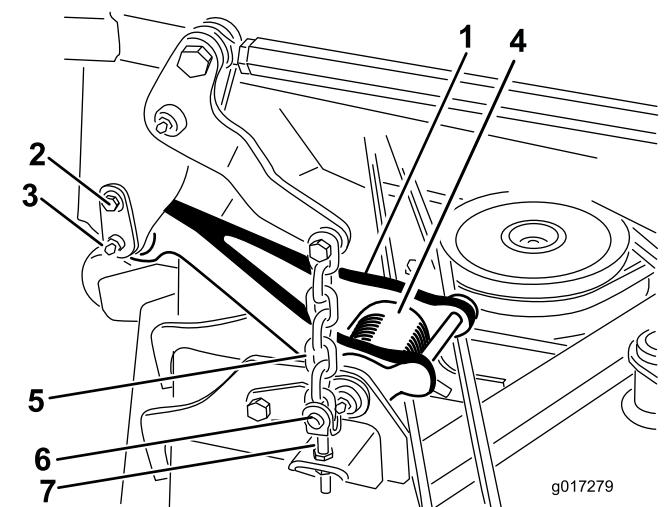
必要なパーツはありません。

### 手順

**注** トランクションユニットにデッキが付いていない場合は、この作業を飛ばして [4 アダプタキットを取り付ける（ページ 7）](#)に進んでください。

**注** 刈り込みデッキを完全に上昇させると、プルリンクのトーションスプリング [図 1](#) が軽くなるのでプルリンクをマシンから外しやすくなります。

1.

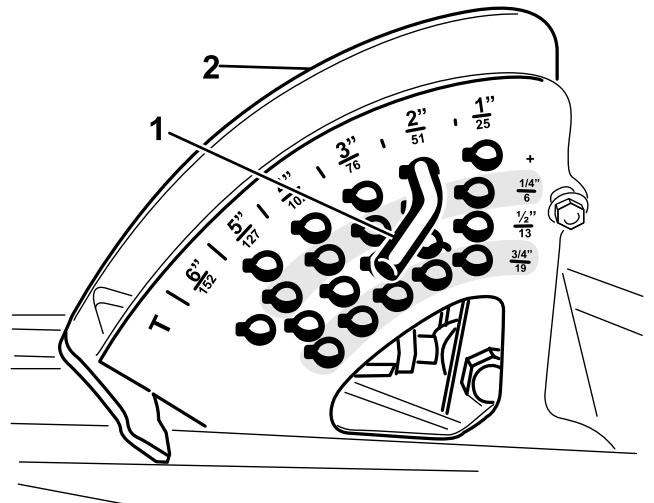


g017279

図 1

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. プルリンクデッキ上昇時 | 5. デッキ昇降チェーン |
| 2. ショルダ付きねじ    | 6. クレビスピン    |
| 3. リテナピン       | 7. 調整クレビス    |
| 4. トーションスプリング  |              |

2. 以下の手順で、車両両側のプルリンクを外す [図 1](#)
  - A. リテナピンをキャリアフレームに接続しているショルダ付きねじを外す [図 1](#)。
  - B. キャリアフレームとプルリンクから、リテナピンを注意深く抜き取る [図 1](#)。
3. 現在の刈高設定刈高ブラケット内のピンの位置 [図 2](#)記録し、刈高ブラケットからピンを抜き取る。



G017278  
g017278

図 2

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 刈高ピン | 2. 刈高ブラケット |
|---------|------------|

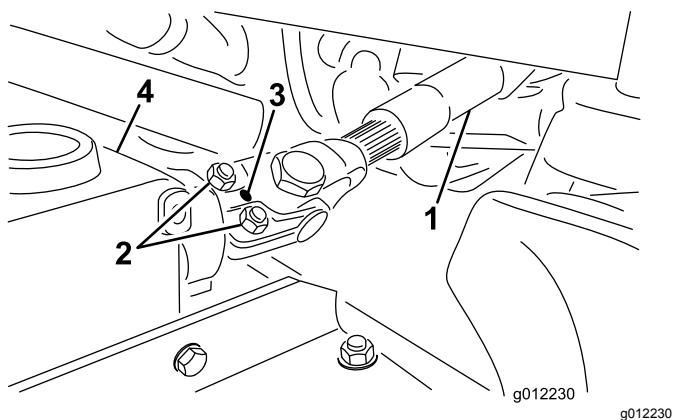
4. エンジンを掛け、刈り込みデッキを完全に降ろす。エンジンを止め、キーを抜き取る。

**注** カッティングデッキを台車の上におろすようにすると、その後の引き出しが楽になります。

**注** 機体前部を浮かせて作業するとデッキの取り外しが楽になります。

5. デッキの昇降チェーン4本を昇降アームに固定しているボルトとナットを取り外す**図1**。
6. 以下の要領で、デッキのギアボックスのシャフトから、PTO 駆動シャフトのエンドヨークを外す
  - A. ヨークとギアボックスのシャフトからロールピンを取り外す**図3**。

**注** ロールピンは捨てないこと。



**図3**

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 駆動シャフト     | 3. ロールピン  |
| 2. ボルトとロックナット | 4. ギアボックス |

- B. ボルト2本とロックナットをゆるめる**図3**。
  - C. ギアボックスのシャフトから駆動シャフトのエンドヨークを抜き取る。
  - D. 駆動シャフトを持ち上げてフレームにしばりつけておく。
7. デッキを機体から引き出す。

# 3

## フレームにプレートを溶接する

### この作業に必要なパーツ

1	長いプレート
1	小さいプレート

### 手順

この作業はすべての2013、2014年モデル、および以下の2015年モデルで必要となります：

- モデル 30495, シリアル番号 315000101-315000178
- モデル 30487, シリアル番号 315000101-315000196
- モデル 30695, シリアル番号 315000101-315000131
- モデル 3048N, シリアル番号 315000101-315000105

### ⚠ 警告

#### カリフォルニア州 第65号決議による警告

バッテリー やバッテリー関連製品には鉛が含まれており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。取り扱い後は手をよく洗ってください。

### ⚠ 警告

溶接作業には、火傷、視力障害、感電などの危険が伴う。

- 必ず適切な機器を使用し、適切な防具を着用し、正しい手順を守って作業を行うこと。
- 溶接作業は有資格者が行うこと。有資格者がいない場合には代理店に依頼すること。

1. バッテリーの端子からケーブルを外す。  
**重要**マイナス(-)ケーブルから先に外し、次にプラスケーブルを外すようにしてください。
2. 溶接する部分の塗装をサンドペーパーなどで除去する**図4**。
3. **図4**に示すように、プレートをフレームにクランプ固定して溶接する。
4. 溶接部分が冷えたら、溶接部とその周囲の塗装をタッチアップ塗料Toro P/N 112-0176 または500-41で塗装する。
5. バッテリー端子にケーブルを元通りに接続する。

**重要プラスケーブルから取り付け、それからマ  
イナスを取り付けてください。**

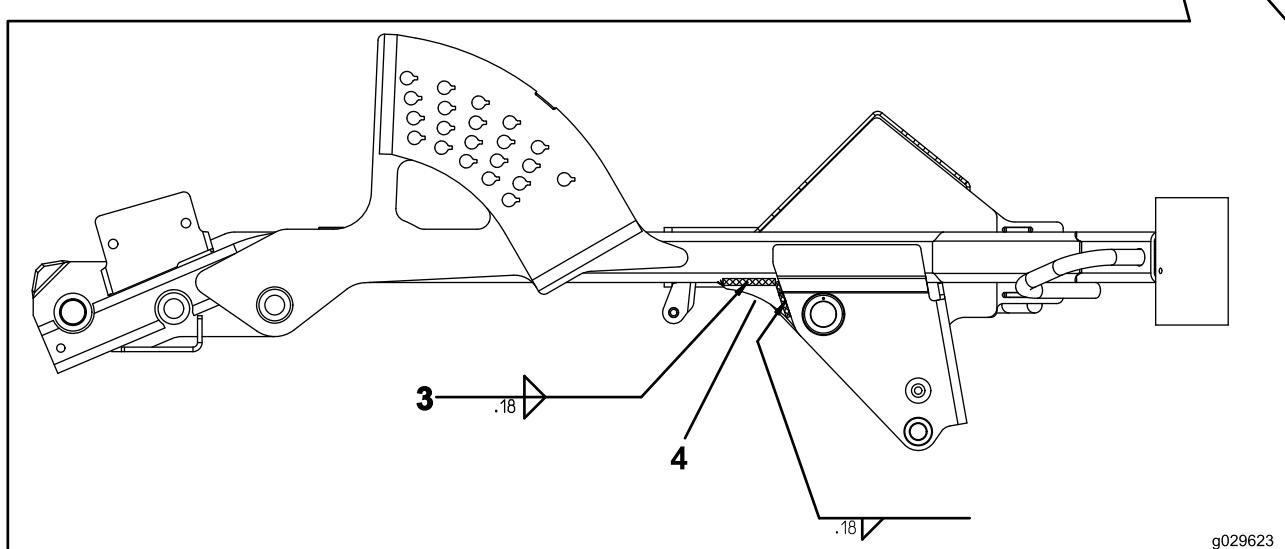
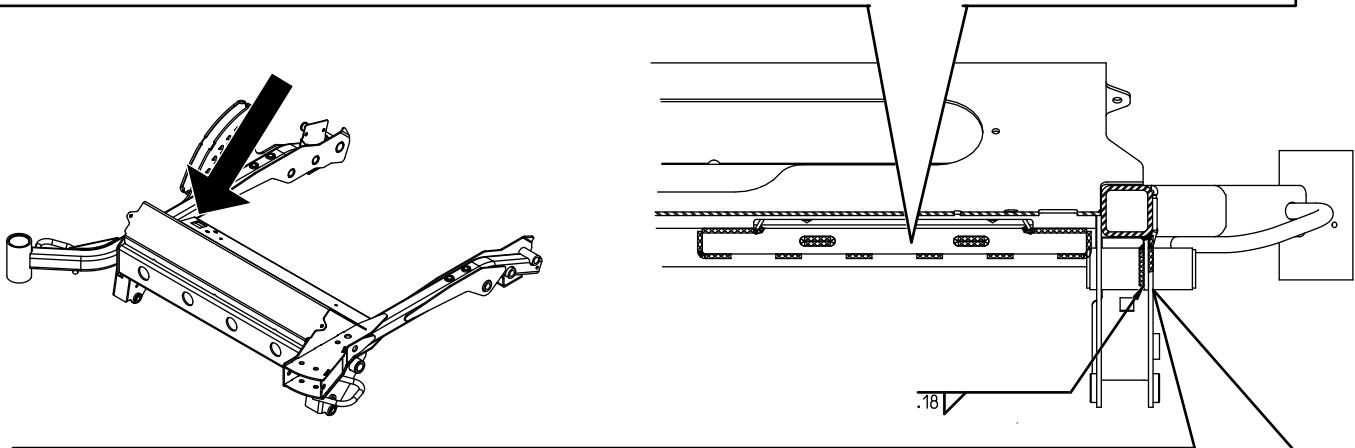
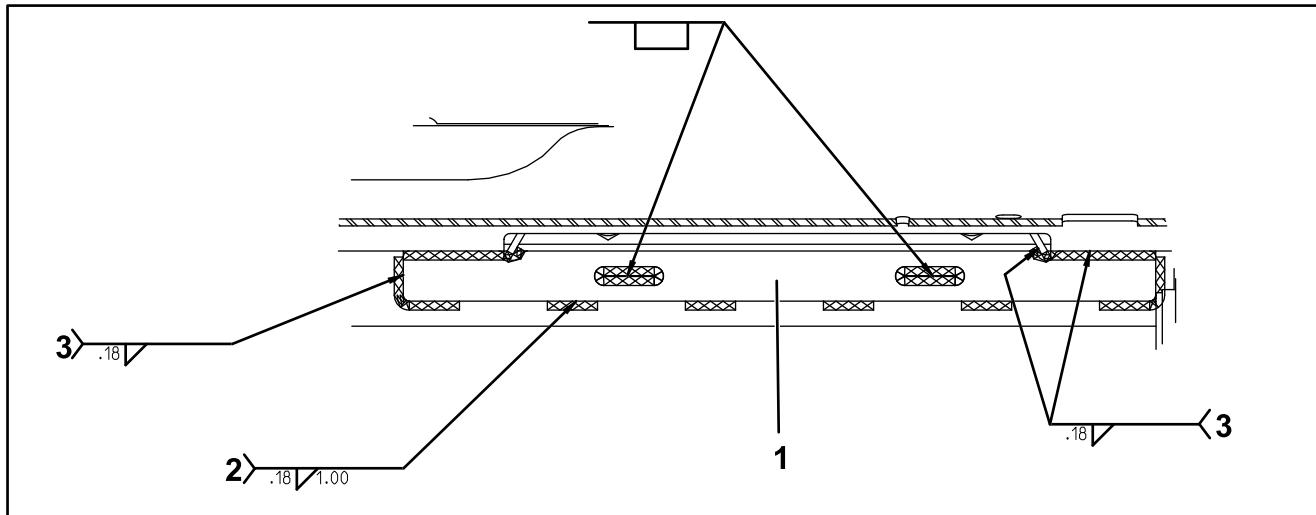


図 4

1. 長いプレート
2. ここを6か所で溶接する
3. コーナー部は連続溶接2回。
4. 小さいプレート

# 4

## アダプタキットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	刈高ステッカー
1	ボルト
1	ワッシャ
1	ロックナット
1	ベルト配置ステッカー
1	オリフィスディスク
2	字フィッティング
1	油圧ホース53 cm
1	油圧ホース43 cm
1	デッキのワイヤハーネス
1	ヒューズブロックとヒューズ
1	アース端子ブロック
2	ねじ
2	ナット
1	ジャンパストリップ
1	シャントのワイヤハーネス

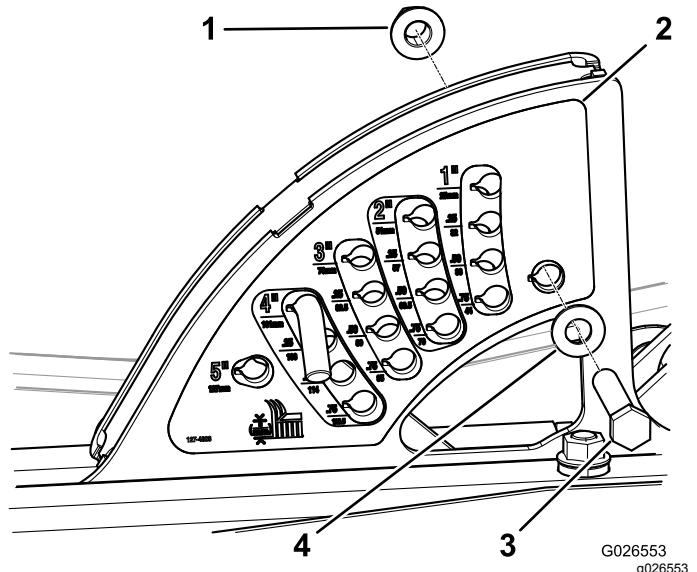


図6

- 1. ロックナット $\frac{1}{2}$ "
  - 2. 新しい刈高ステッカー
  - 3. ボルト $\frac{1}{2} \times 2\frac{3}{4}$ "
  - 4. ワッシャ
4. 図6に示すように、新しいステッカーの下側の穴に、ボルト $\frac{1}{2} \times 2\frac{3}{4}$ "、平ワッシャ、ロックナット $\frac{1}{2}$ "を取り付ける。
- 注**これにより、刈高ピンを抜いてもデッキが下降して床に接触しないようになります。
5. フロアプレートを開く図7。

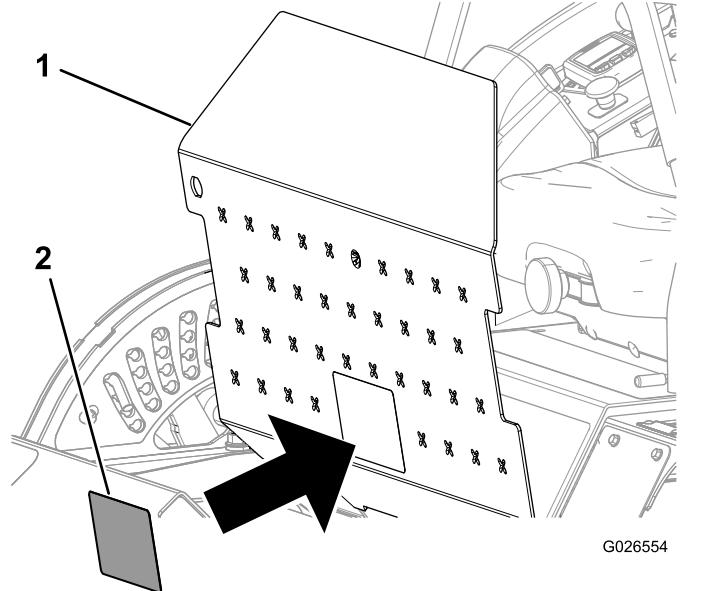


図7

## デカルを貼り付ける

1. トラクションユニットの刈高ブラケットに張り付けてある既存の刈高ステッカーをはがす 図5。

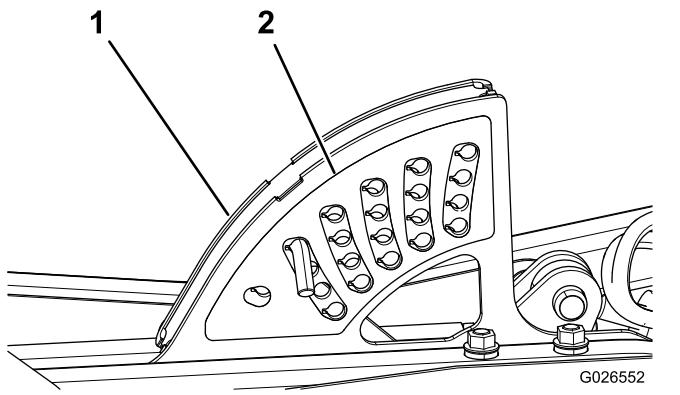


図5

1. 刈高ブラケット
2. 刈高ステッカー
2. 貼り付け前に、表面を十分にきれいに拭いてください。
3. 新しい刈高ステッカーを貼り付ける。  
図6。

1. フロアプレート
  2. ベルト配置ステッカー
6. 新しいベルト配置ステッカーを、古いステッカーの上から貼り付ける図7。
- 注**貼り付け前に、表面を十分にきれいに拭いてください。

# デッキ昇降マニホールドを組み付ける

## ▲ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに専門医の治療を受けてください。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。

1. 以下の手順で、デッキ昇降マニホールドにオリフィスディスクを取り付ける

- A. 昇降バルブマニホールドのポートAのソレノイドバルブにスペーサ/コイルアセンブリを固定しているナットを外す 図 8。

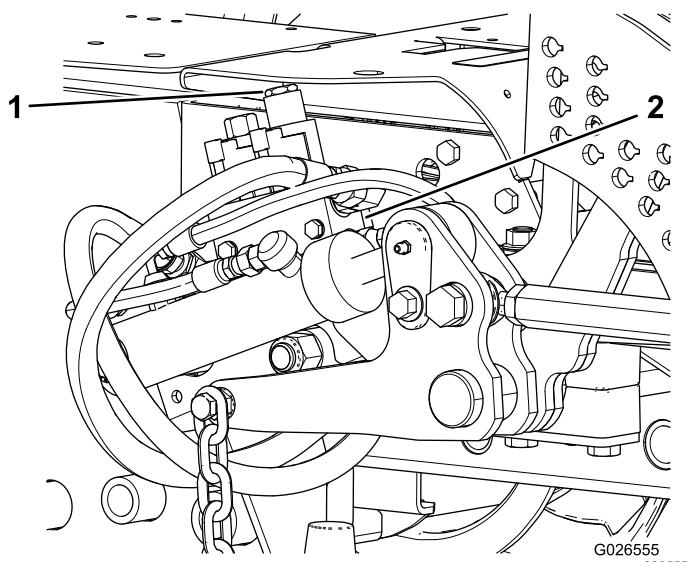


図 8

1. ナット

2. 昇降バルブマニホールド

- B. コイルを持ち上げてソレノイドバルブに手を伸ばし、ソレノイドバルブを静かにゆるめる 図 9。

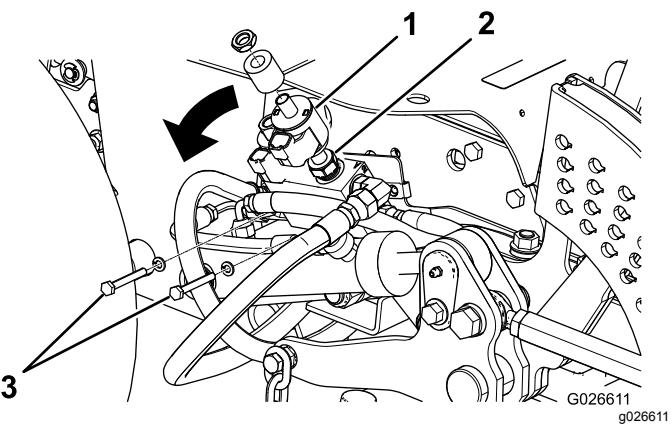


図 9

1. コイル  
2. ソレノイドバルブ  
3. ボルト

- C. 昇降マニホールドを固定しているボルト2本を取り外す 図 9。

- D. 昇降バルブマニホールドを外側に倒す 図 9。

- E. 昇降バルブマニホールドから、スペーサ、コイル、ソレノイドバルブを取り外す 図 10。

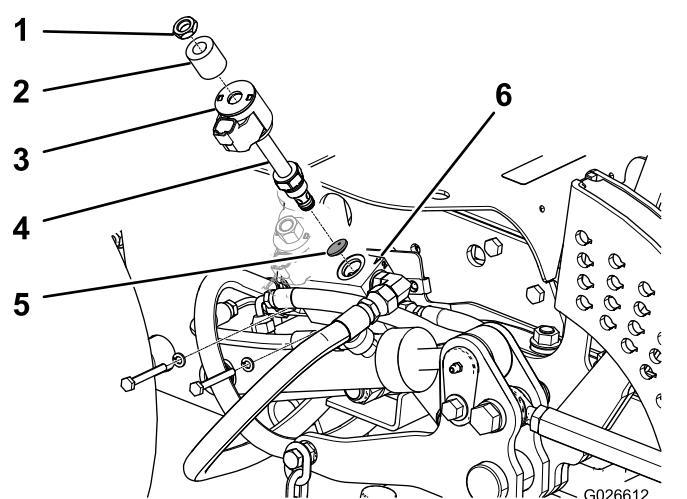


図 10

1. ナット  
2. スペーサ  
3. コイル  
4. ソレノイドバルブ  
5. オリフィスディスク  
6. マニホールド

- F. マニホールドの開口部分にオリフィスディスクを挿入する。面取りされている側を内側に向けて挿入すること 図 10。

- G. マニホールドにソレノイドバルブを取り付け、 $27\text{N}\cdot\text{m}2.8\text{kg}\cdot\text{m}=20\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

**注** バルブを締めつけすぎないように注意してください。

- H. ソレノイドバルブに、コイル/スペーサアセンブリを取り付ける 図 10。

- I. コイル/スペーサーセンブリをソレノイドバルブにナットで固定し 図 10 ナットを  $7\text{N}\cdot\text{m}$   $0.7\text{kg}\cdot\text{m} = 5\text{ft-lb}$  にトルク締めする。
- J. ステップ C で外したボルトを使って、昇降バルブマニホールドを取り付ける。
2. デッキ昇降シリンダの後ポートについているホースを外す 図 11。

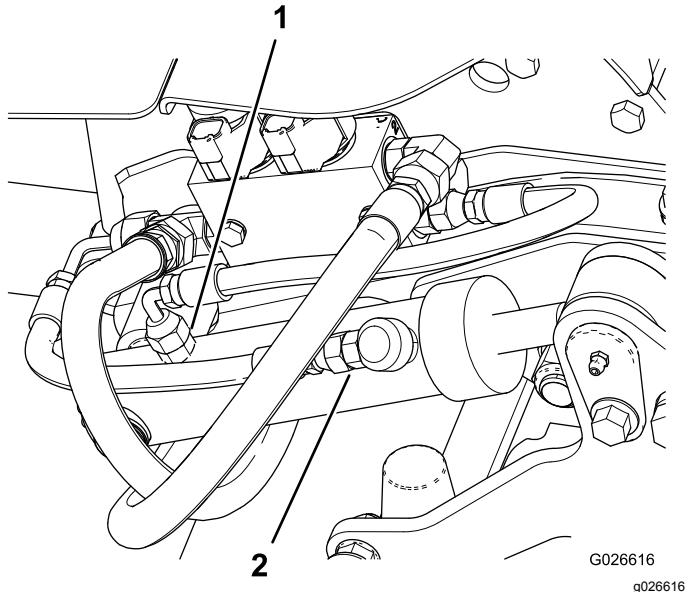


図 11

1. 後ポート
2. 前ポート

3. 図 12 のように T 字フィッティングを取り付ける。

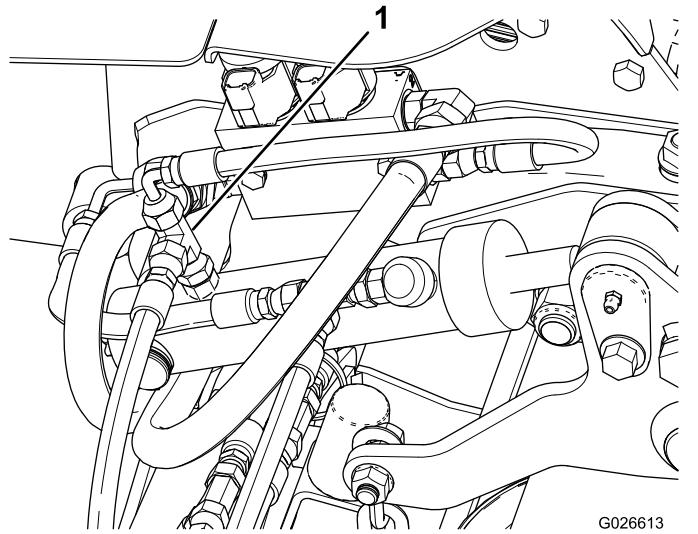


図 12

1. 字フィッティング
4. 字フィッティング上部に既存のホースを取り付ける 図 12。
5. キットに入っている短い方のホースを右側ウイング昇降シリンダの外側ポートに取り付ける 図 13。

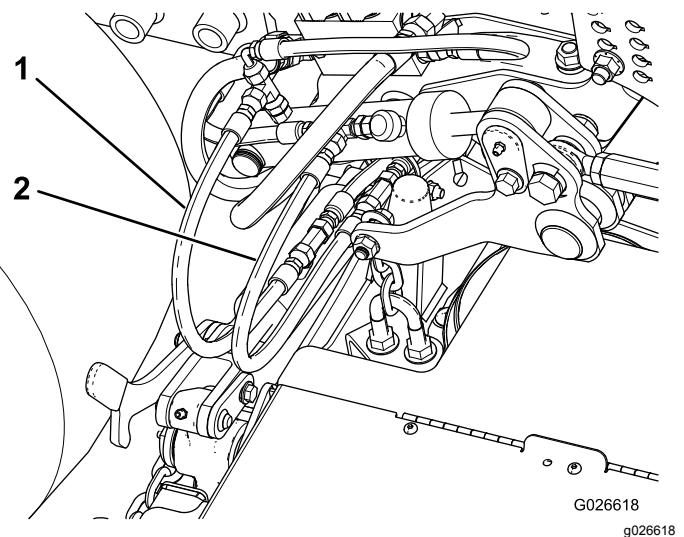


図 13

1. 短いホース
2. 長いホース

6. 短いホースのもう一方の端部を、デッキ昇降シリンダの字フィッティングに接続する 図 13。
7. デッキ昇降シリンダの前ポートについているホースを外す 図 11。
8. 字フィッティングを取り付ける 図 14。

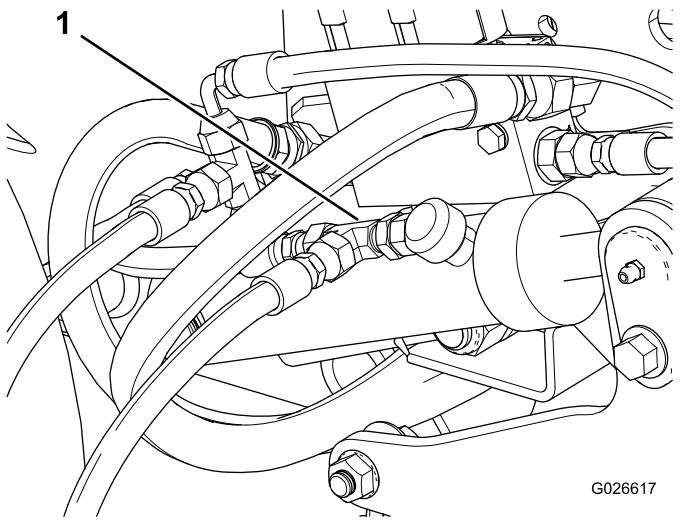


図 14

1. 字フィッティング

9. 既存のホースを T 字フィッティングに取り付ける。
10. キットに入っている長い方のホースをデッキ昇降シリンダの内側ポートに取り付ける。
11. 長いホースのもう一方の端部を字フィッティングに接続する

## 前ローラの取り外し

1. ローラのシャフトについているパーツを外す 図 15。

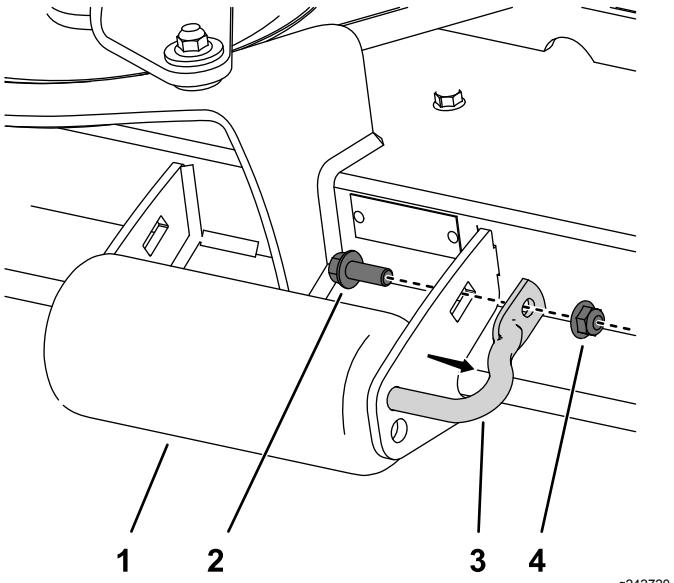


図 15

図は中央のローラ

- 1. ローラ
  - 2. ローラシャフトのボルト
  - 3. ローラシャフト
  - 4. ローラシャフトのナット
- 
2. デッキから、前ローラ 3 本とそのローラシャフトを外す。

**注** 機体前部を浮かせておくと新しいデッキの挿入が楽になります。

5. 以下の要領で、デッキのギアボックスに、PTO 駆動シャフトのエンドヨークを接続する
  - A. 駆動シャフトのヨークのスプラインとロールピンの穴を、ギアボックスのシャフトに合わせる。
  - B. PTO 駆動シャフトのエンドヨークを、ギアボックスのシャフトに差し込む。
  - C. ロールピンを使って、エンドヨークをギアボックスのシャフトに固定する図 3。
  - D. ロックナットを締め付けてエンドヨークをギアボックスに固定し 図 3、ロックナットを 20-25 N·m 2.1-2.5 kg·m = 15-18 ft-lb にトルク締めする。

6. 以下の手順で、後デッキ昇降チェーンを取り付ける

**注** 後昇降チェーンを昇降ブラケットに取り付ける時には、上から2番目のリンクを使ってください。これにより、デッキが所定角度だけ傾斜します。

- A. 右後昇降チェーンを、昇降ブラケットの内側に取り付けるボルト1本とナット2個を使用する 図 17。

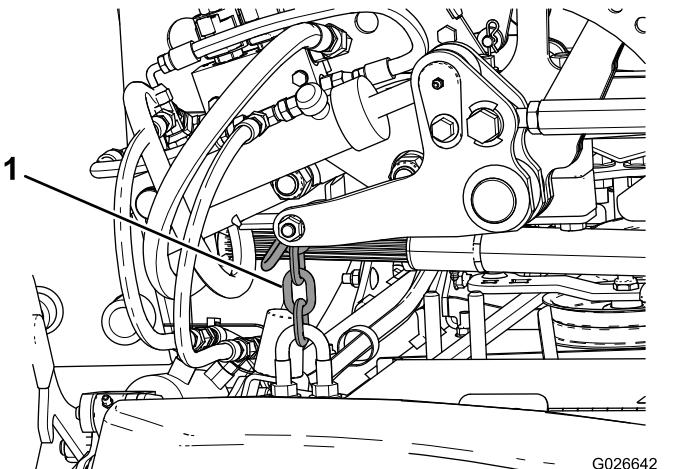


図 17

1. 右後昇降チェーン

- B. 左後昇降チェーンを、昇降ブラケットの外側に取り付けるボルト1本とナット2個を使用する 図 18

## トラクションユニットにデッキを取り付ける

1. デッキの裏側に昇降チェーン用Uボルトを固定しているナットを外す図 16。

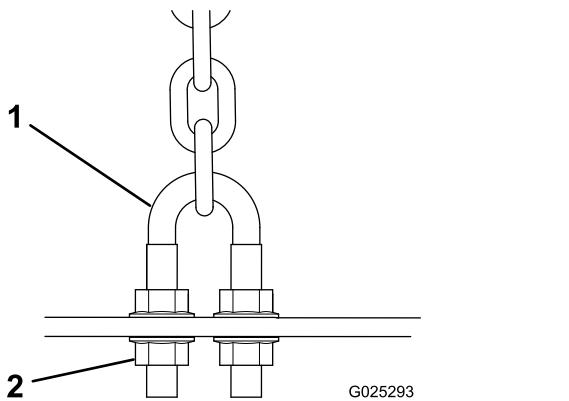


図 16

- 1. ボルト
- 2. ナット

2. Uボルトから上側ナットを1個外し、Uボルトに昇降チェーンを取り付け、上側ナットを取り付ける。
3. 先ほど外したナットを使って、Uボルトをデッキに取り付ける図 16。
4. 新しいデッキを機体のキャリアフレームの下に押し入れる。

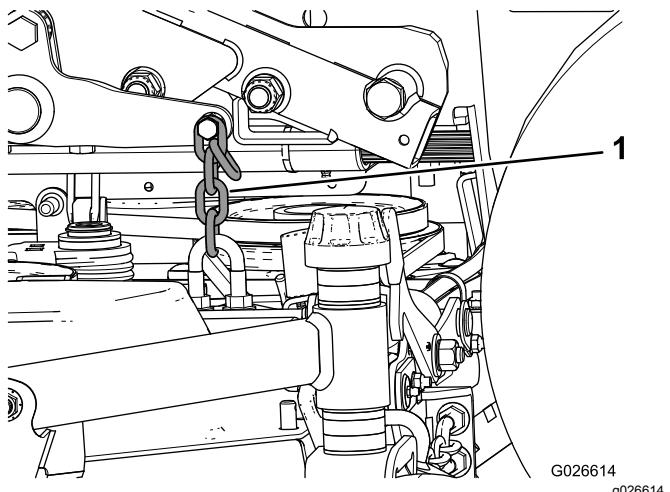


図 18

1. 左後昇降チェーン

- C. 一番上のチェーンリンクを使って、前昇降チェーンを昇降ブラケットの **外側**に取り付ける。

## マシンにプルリンクを接続する

### △ 注意

プルリンクのトーションスプリングの力によって、プルリンクが回転する場合があり、リンクに挟まれると人身事故になる危険がある。

プルリンクを機体に接続する時にけがをしないよう注意すること。

- エンジンを掛け、デッキを完全に上昇させる。エンジンを止め、キーを抜き取る。  
**注** 各リンクの下に角材などを置いて、上昇状態を保持する図 19。
- プルリンクをキャリアフレームに合わせて、リンクをリテナピンで接続する図 19。

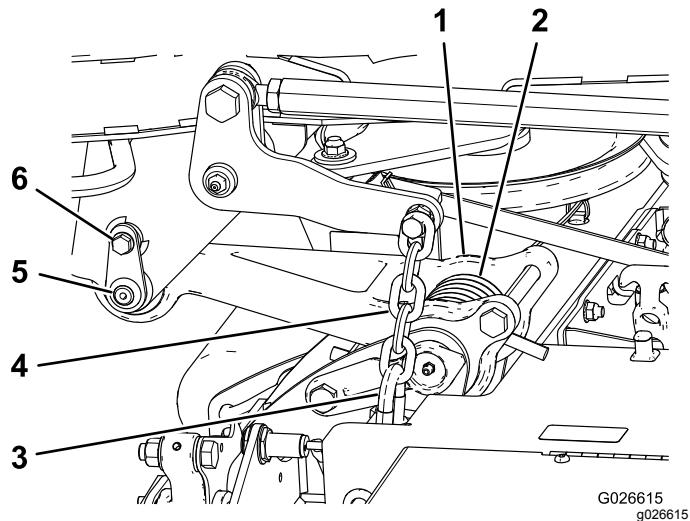


図 19

- プルリンクデッキ上昇時
- トーションスプリング
- ボルト
- デッキ昇降チェーン
- リテナピン
- ショルダ付きねじ

- リテナピンは、ショルダねじでフレームに固定する図 19。
- 機体前部をすこし持ち上げて、先ほど入れた角材をプルリンクの下から外す。

## デッキ用ワイヤハーネスを取り付ける

- バッテリーの端子からケーブルを外す。

**重要**マイナスケーブルから先に外し、次にプラスケーブルを外すようにしてください。

- ヒューズブロックを探し出す図 20。

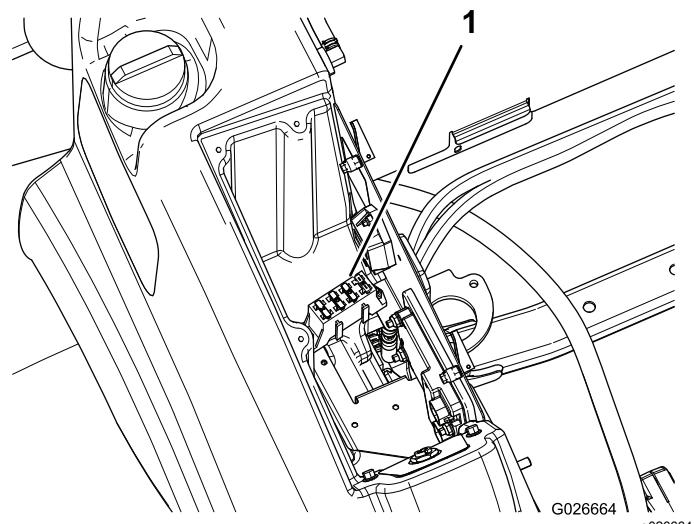


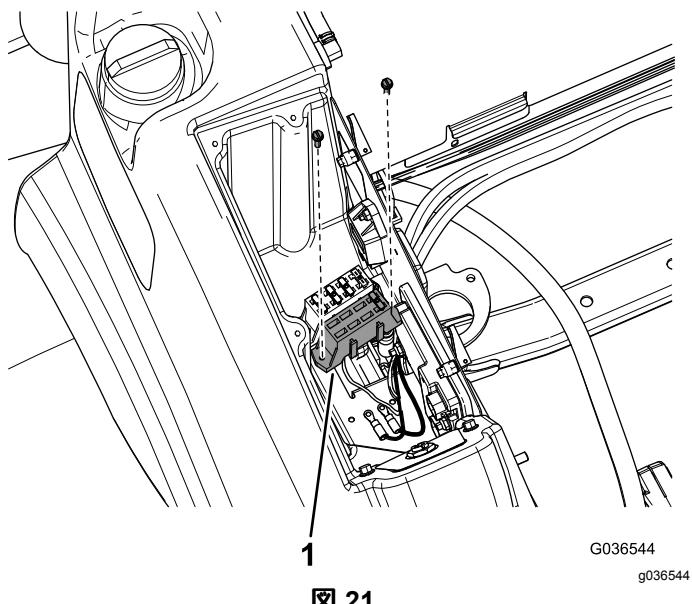
図 20

- ヒューズブロック

- 新しいデッキ用ワイヤハーネスを以下のように接続する

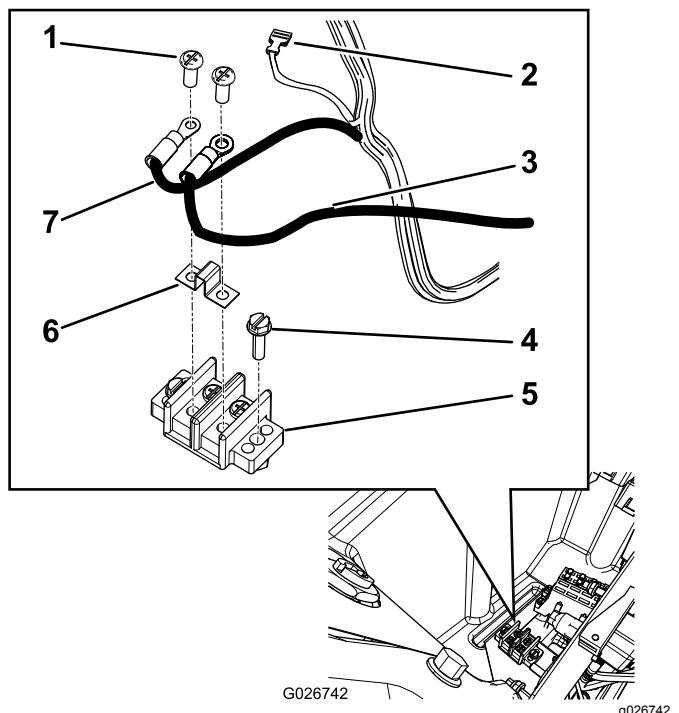
- A. 赤色のワイヤを、ヒューズブロックの開いているコネクタに接続する。

**注** 空いているコネクタがない場合には、新しいヒューズブロックを取り付ける図 21。新しいヒューズブロック、ヒューズ、取り付け用のナットとボルトは、付属部品の中に入っている。



1. 新しいヒューズブロック

- B. 図 22 の位置にアースブロックを取り付ける。



- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 端子ねじ       | 5. アースブロック         |
| 2. 赤線         | 6. ジャンパストリップ       |
| 3. 黒線 メインハーネス | 7. 黒色のワイヤキット用のハーネス |
| 4. 取り付けねじ     |                    |

- C. アースブロックの端子ねじを外して図 22に示す用にジャンパストリップを取り付ける。
- D. メインのデッキ用ハーネスの中の黒色のワイヤ探し出し、これをアースブロックのジャンパストリップの一方側に取り付ける図 22。
- E. デッキ用ハーネスの黒ワイヤを、ジャンパストリップのもう一方の側に取り付ける図 22。

**注** デッキ用ワイヤハーネスは接続しないでください。この接続は、5 タイマーを取り付ける(ページ 13)でリレーブラケットにリレーを接続した後に行います。

4. トランスミッションの前部、オイルフィルタの近くで、コネクタを外す図 23。
5. デッキ用ワイヤハーネスをトランスミッション図 24まで配設してデッキ用ハーネスと昇降遅延ハーネスを、トランスミッションの対応コネクタに接続する図 23のBを参照。

**注** 残りの昇降遅延ハーネスの配設は、タイマーの取り付け後に行います。

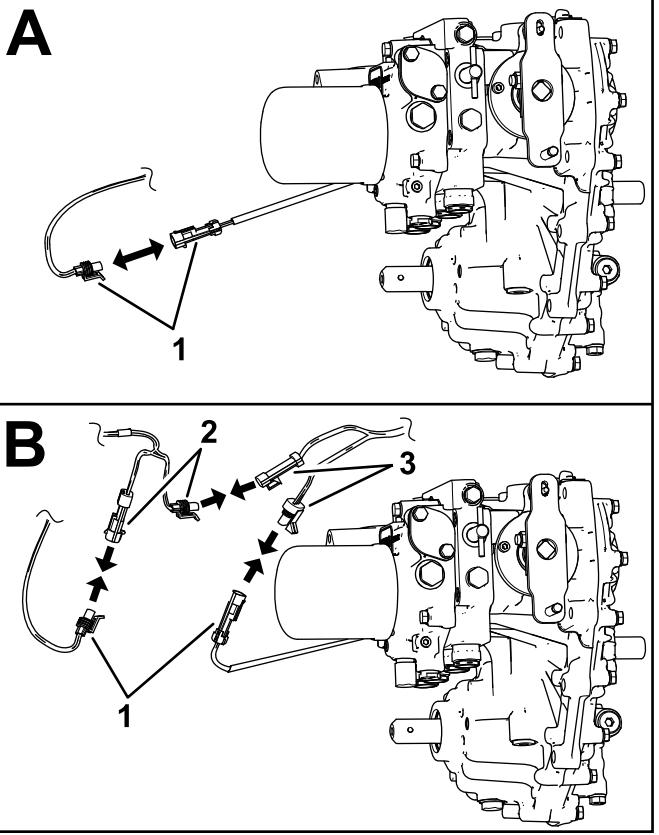


図 23

g242731

1. トランスミッションのコネクタ
2. デッキ用ハーネスのコネクタ
3. 昇降遅延ハーネスのコネクタ

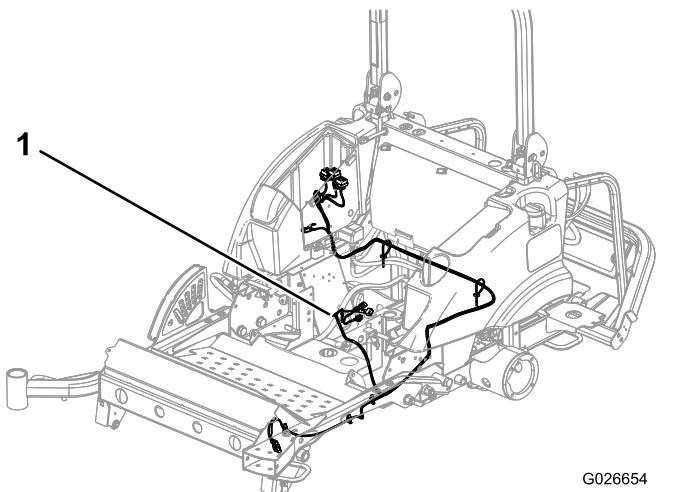


図 24

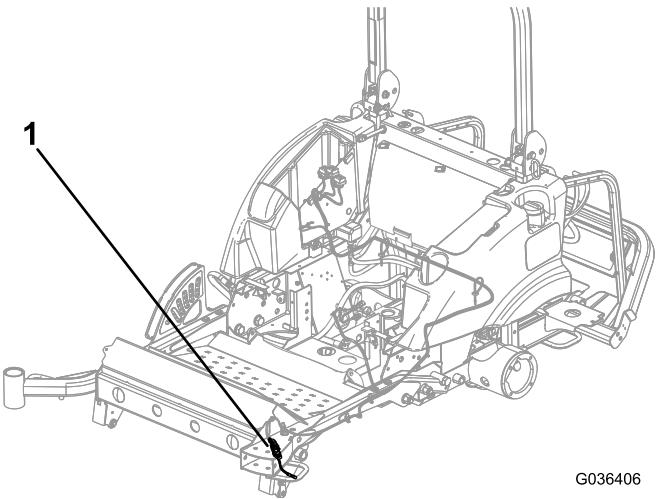
1. デッキ用ワイヤハーネス
6. デッキ用ワイヤハーネスの残りの部分を、機体左側に沿って、フロアの下から機体前部へと配設する。
7. デッキ用ハーネスのコネクタを、中央デッキ前部のハーネスに接続する。

8. ケーブルタイを使って、デッキ用ワイヤハーネスを既存のハーネスに固定する。

**重要** デッキ用ハーネスの余り部分が、鋭利な部分、高温部、可動部などの近くにこないよう注意してください。

9. デッキ用ワイヤハーネスにシャント用ワイヤハーネスを図 25 のように接続する。

**注** シャント用ワイヤハーネスは、デッキが本体から外されている時にのみ使用します。



G036406  
g036406

図 25

1. シャント用ワイヤハーネス

## 5

### タイマーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	リレーブラケットタイマー取り付け済み
5	リレー
2	ボルト 10-24 x 0.56"
2	ロックナット
1	昇降遅延ワイヤハーネス

### 手順

**注** このタイマーは、刈り込みブレードが停止するまでの 3-4 秒間、デッキの上昇動作を禁止するためのものです。

**重要** 以下の作業を開始する前に、バッテリーの接続が外れていることを必ず確認してください。

1. リレー 5 個をブラケットに取り付けるボルト 10-24 x 0.56" 2 本とロックナット 2 個を使用する図 26。

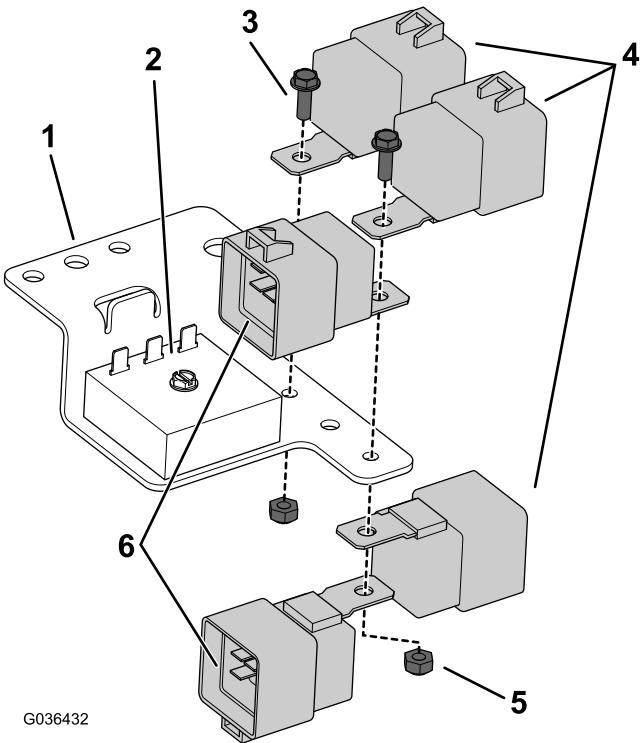


図 26

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. リレーブラケット           | 4. リレーデッキハーネス用の<br>3個のコネクタ用  |
| 2. タイマー               | 5. ロックナット2個                  |
| 3. ボルト10-24 x 0.56"2本 | 6. リレー昇降遅延ハーネス用<br>の2個のコネクタ用 |

2. タンクサポートの下側とブラケットに、リレー用の  
ブラケットを取り付ける既存のボルトとナットを  
使用する図 27。

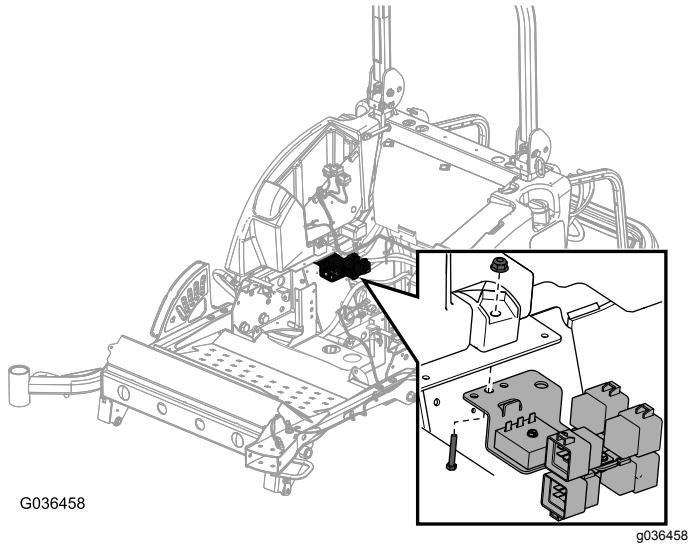


図 27

3. 升降遅延ワイヤハーネスを以下のように取り付ける  
A. 赤色のワイヤを、ヒューズブロックの開いて  
いるコネクタに接続する。

**注** 空いているコネクタがない場合には、新  
しいヒューズブロックを取り付ける図 28。新  
しいヒューズブロック、ヒューズ、取り付け  
用のナットとボルトは、付属部品の中に入っ  
ている。

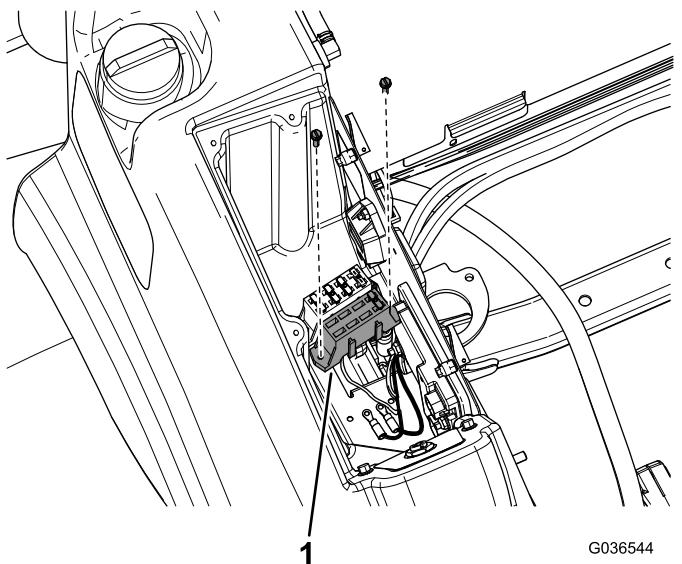


図 28

1. 新しいヒューズブロック

- B. 黒いワイヤを近くのアースブロックに取り付  
ける図 29。

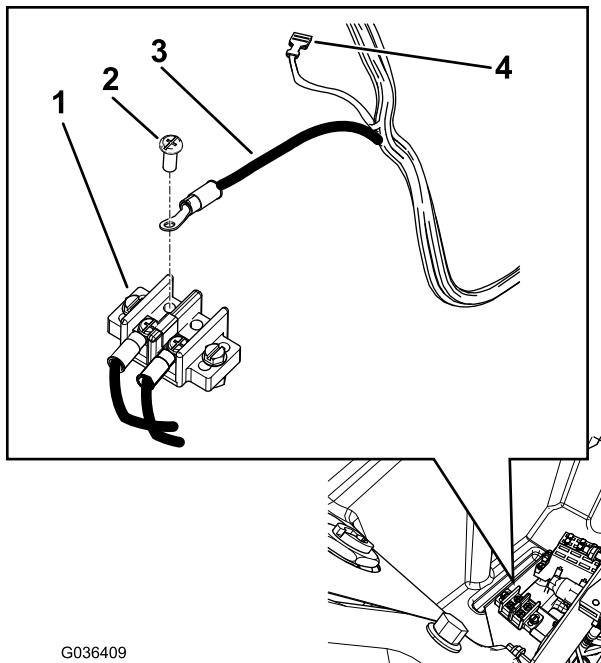


図 29

- |            |       |
|------------|-------|
| 1. アースブロック | 3. 黒線 |
| 2. 端子ねじ    | 4. 赤線 |

- C. 遅延ハーネスを、先ほど取り付けたリレー用  
ブラケットに向けて敷設し、タイマーの3個の  
コネクタをタイマーに接続する図 30。

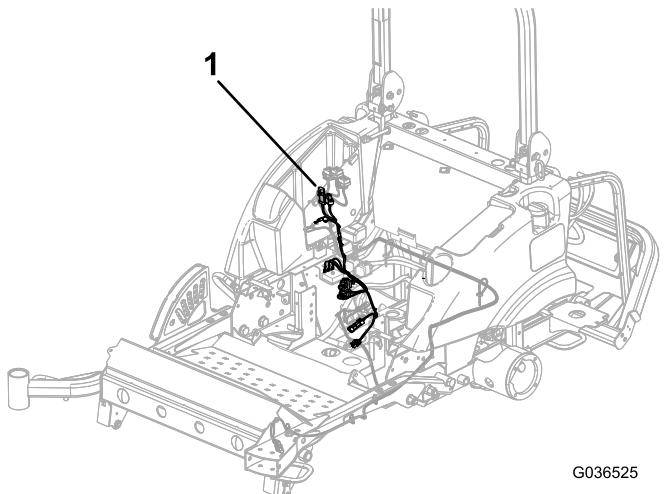


図 30

- 昇降遅延ワイヤーハーネス

- デッキ用ハーネスのコネクタ3個と遅延ワイヤーハーネスのコネクタ2個を、リレーブラケットに先ほど取り付けた5個のリレーに接続する。接続の向きについては図26を参照する。
- 遅延ワイヤーハーネスの残りのコネクタをデッキ昇降スイッチのハーネスネスとPTOバルブに接続する。

**重要** ハーネスの余り部分が、鋭利な部分、高温部、可動部などの近くにこないよう注意してください。

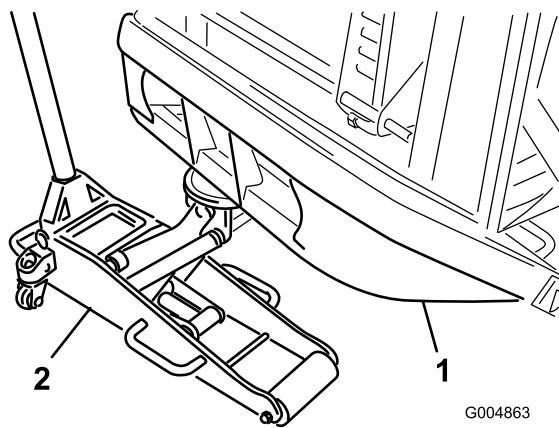


図 31

- 後バンパーチューブ
- フロアジャッキ

- 後輪を取り外す。
- ホイールのくぼみ部分から、ブレーキアセンブリについているゴミもふくめてよごれをきれいに取り除く。
- フレームの右側のチャネル材にホースクランプを固定しているボルトとナットを取り外す図32。

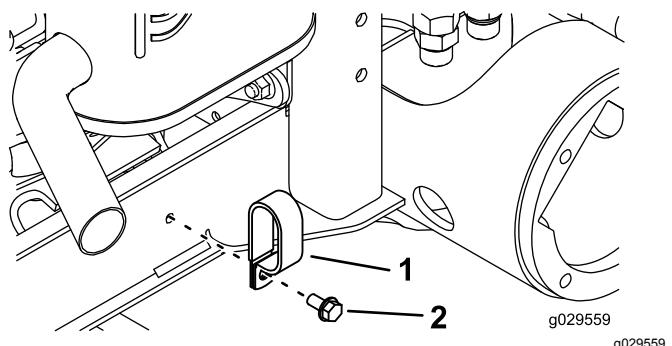


図 32

- ホースクランプ
- ボルト

- ホースクランプの底部をフェンダのマウントの上部についているスロットに通す図33。

## 6

### 右側フェンダを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

1	フェンダのマウント
1	右フェンダ
2	タップねじ5/16 x 5/8"
2	ボルト1/4" x 5/8"
2	ナット1/4"

#### 手順

- 後部バンパーチューブの下に適当なジャッキをセットし、後タイヤが床から浮き上がるまで車体後部を持ち上げる 図31。

**注** 後バンパーの下にジャッキスタンドをセットする。

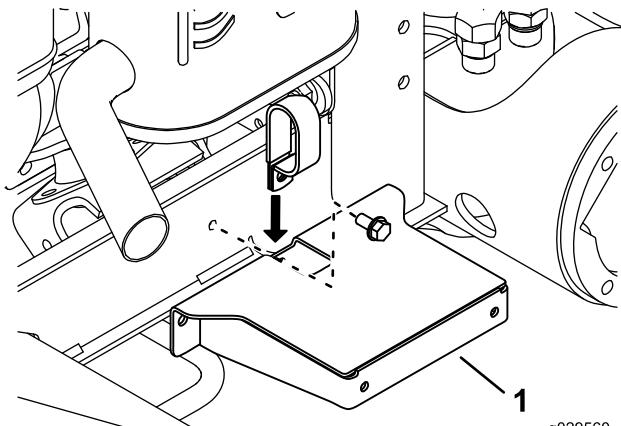


図 33

g029560  
g029560

1. フェンダのマウント

6. 先ほどはずしたホースクランプボルトとナットを使って、ホースクランプとフェンダのマウントを、フレームのチャネル材に仮止めする。
7. フレームのチャネル材にフレームマウントを水平に載せる。
8. フレームマウントを型紙として、フレーム材にフェンダ取り付け用の穴2個の位置をマーキングする図 34。

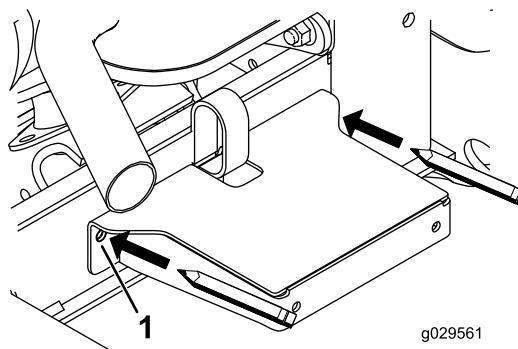


図 34

g029561  
g029561

1. ここにマーキング

9. クランプとフェンダのマウントをフレームに固定していたボルトとナットを取り外す。

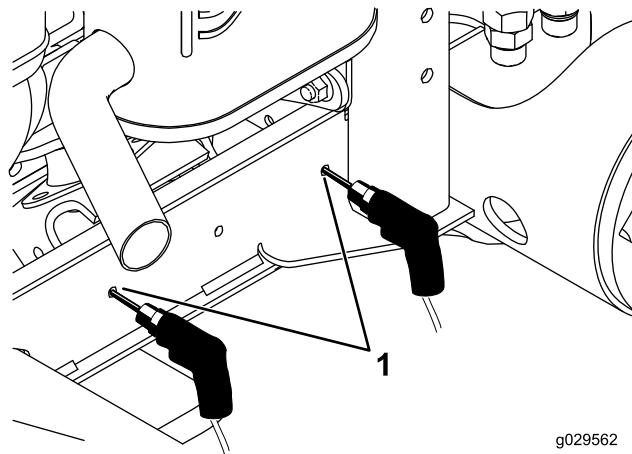


図 35

g029562  
g029562

1. ここに穴を開ける

10. ステップ 8でマーキングした位置2カ所に、直径 7.1 mm の穴を開ける図 35。
11. ホースクランプとフェンダのマウントをフレームのチャネル材に仮止めするホースクランプ、ボルト、ナットを使用図 33を参照。
12. 新しく開けた穴を使って、フェンダのマウントをフレームのチャネル材に固定するタップねじ 5/16 x 5/8" 2本を使用する図 36。

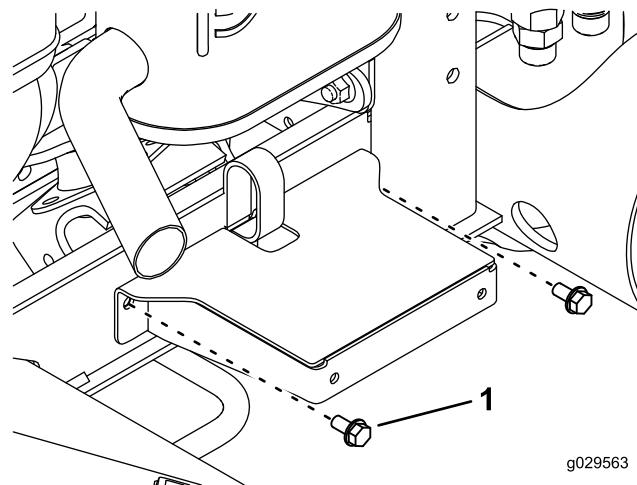


図 36

g029563  
g029563

1. タップねじ 5/16 x 5/8"

13. 各締め具を本締めする。
14. 右フェンダの側部をフェンダのマウントに仮止めするボルト 1/4 x 5/8" 2本とナット 1/4" 2個を使用する図 37。

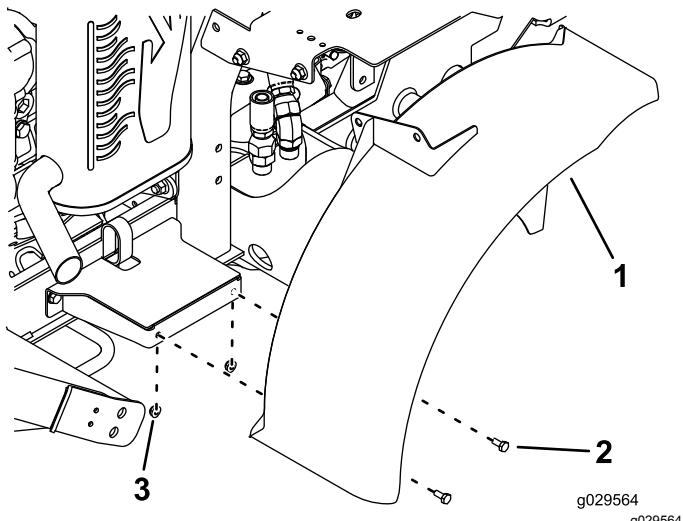


図 37

1. 右フェンダ
2. ボルト $\frac{1}{4} \times \frac{5}{8}$ "
3. ナット $\frac{1}{4}"$

15. フェンダ上部にブラケットを仮止めするボルト $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}"$  2本とナット $\frac{3}{8}"$  2個を使用する図 37。

**注** フェンダがブレーキのロータに接触していないことを確認し、ねじを締める。

## 7

### 左側フェンダを取り付ける

#### この作業に必要なパーツ

1	左フェンダ
2	ナット $\frac{3}{8}"$
2	ボルト $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}"$

#### 手順

1. バッテリーから、マイナスケーブルを外す。
2. バッテリーから、プラスケーブルを外す。
3. バッテリーを固定しているキャリッジボルト、ワッシャ、バッテリー押さえ、ナットを取り外す図 38。

**注** バッテリー押さえなどはすべて再使用します。

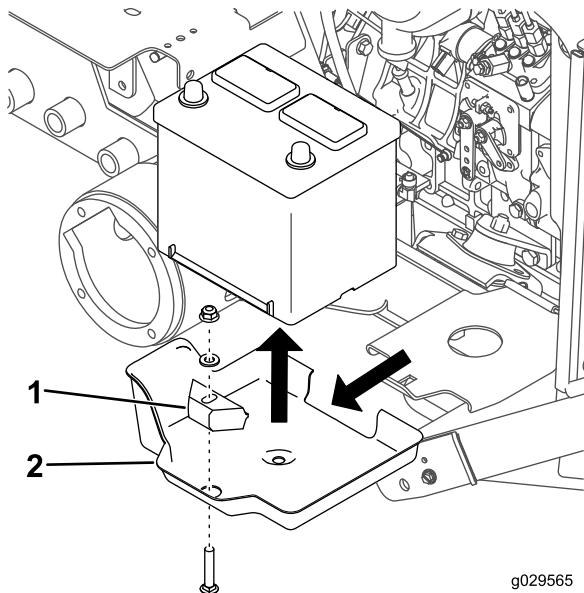


図 38

1. バッテリー押さえ
  2. バッテリートレイ
  4. バッテリートレイからバッテリーを取り出す図 38。
  5. バッテリートレイからバッテリートレイを取り出す図 38。
- 注** バッテリートレイは廃棄する。
6. 左フェンダ上部にブラケットを仮止めするボルト $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}"$  2本とナット $\frac{3}{8}"$  2個を使用して図 39のように取り付ける。

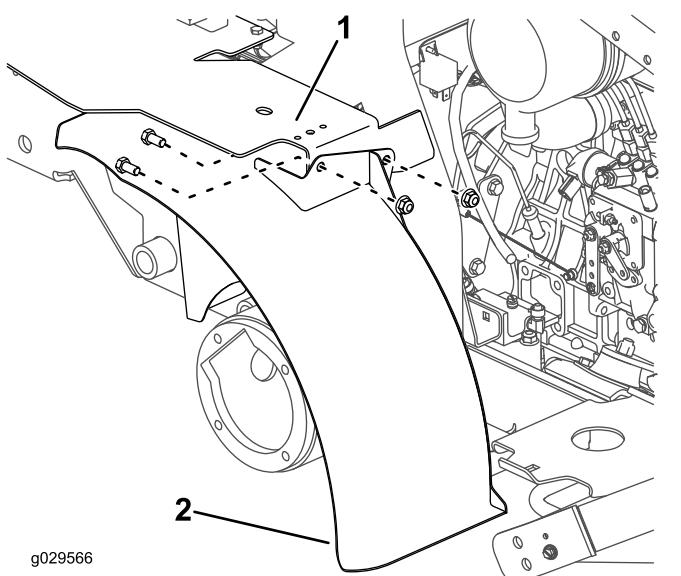


図 39

1. 燃料タンクのブラケット
2. 左フェンダ
7. バッテリートレイにバッテリーを置く。
8. バッテリーを、バッテリートレイに仮止めする先ほど外したキャリッジボルト、バッテリー押さえ、ワッシャ、ナットを使用する図 40。

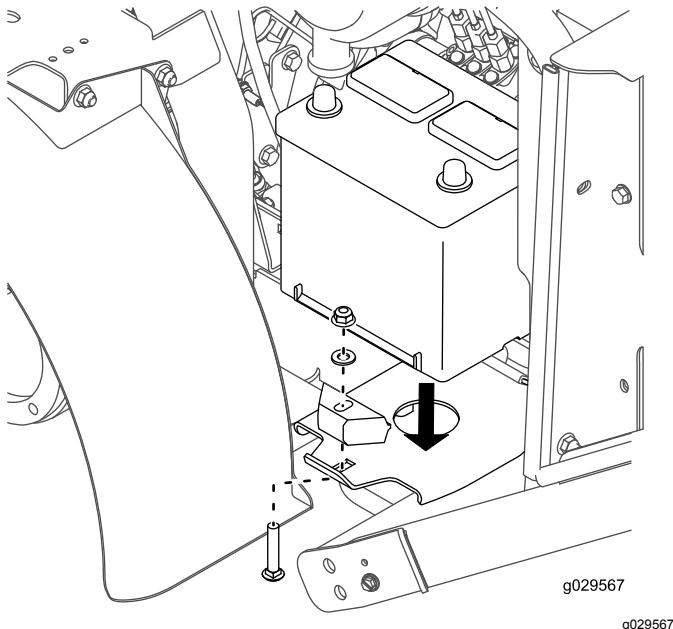


図 40

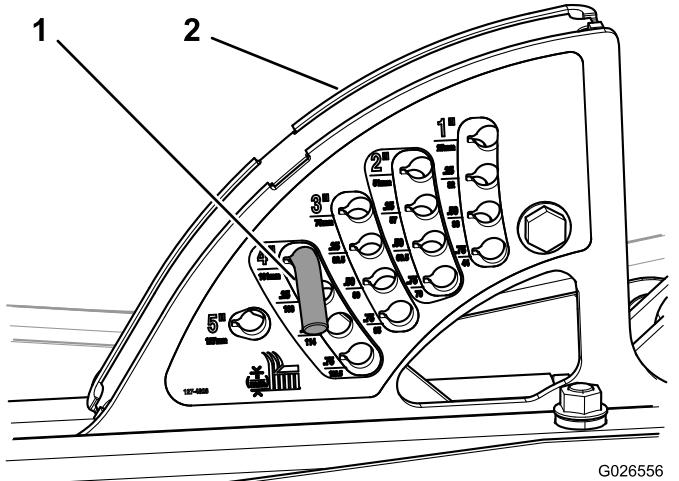


図 41

1. 刈高ピン      2. 刈高ブラケット

2. 油圧オイルの量を点検し、必要に応じて補給するトラクションユニットの オペレーターズマニュアルを参照。
3. 刈り込みデッキの水平調整を行うデッキの オペレーターズマニュアルを参照。
4. デッキおよび PTO 駆動シャフトにグリスを注入するデッキの オペレーターズマニュアルの潤滑についての説明を参照。
5. バッテリーケーブルを接続する。

**重要** プラスケーブルから取り付け、それからマイナスを取り付けてください。

## ▲ 警告

### カリフォルニア州 第65号決議による警告

バッテリーやバッテリー関連製品には鉛が含まれており、カリフォルニア州では発ガン性や先天性異常を引き起こす物質とされています。取り扱い後は手をよく洗ってください。

# 8

## 組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 希望の刈高に合わせて、刈高ブラケットに刈高ピンを取りつける図 41。

メモ



**Count on it.**